

平成27年10月5日

太田大臣、佐藤長官等が洋上救急制度創設30周年記念式典に出席

10月5日(月)公益社団法人日本水難救済会洋上救急制度創設30周年記念式典が名誉総裁高円宮妃殿下のご臨席のもと行われ、太田国土交通大臣、佐藤海上保安庁長官等が出席しました。

洋上救急制度は、洋上の船舶内で傷病者が発生し、医師による緊急の加療が必要な場合に、医師等を当庁の巡視船艇・航空機等により急送するとともに、傷病者を巡視船艇・航空機等に引き取り、医師の加療を行いつつ、陸上の病院に搬送する、世界で唯一の制度で、公益社団法人日本水難救済会が実施している事業です。

昭和60年10月1日の制度創設以来、30年間で821件の洋上往診に出動し、851名もの方々が救助されています。

記念式典では、洋上救急制度創設の歴史を振り返り、これまで洋上救急に抜群の功績があった協力医療機関3団体が、名誉総裁功労者として表彰されました。

